

中国の現地法人「NTZ」社の 事業拡大と次代に向けた 「人財確保とブランディング戦略」

当社中国現地法人は、2025年7月1日に「日東精密螺絲工業(浙江)有限公司」から「日東精工科技(浙江) 有限公司」(NTZ) へと社名変更をしました。

これは中国での事業拡大を図っていくための礎となるものです。

今号のニュースレターではNTZ社の事業概要をあらためて解説し、また次代を見すえた同社の「人財確保とブランディング戦略」をご紹介します。



社名を変更し

幅広い事業内容を訴求する

日東精工グループは、成長戦略の一環として、海外における増強ならびに事業の多角化を進めています。中国においては、2001年9月に浙江省に日東精密螺絲工業(浙江) 有限公司を設立し、家電、IT・情報機器を中心に工業用ファスナー(ねじ)の製造販売を開始しました(現在は小ねじ、タップタイトねじ、精密ねじ及び特殊冷間圧造部品など生産能力は2億3千万本/月を誇ります)。

また工業用ファスナーだけでなく、2009年からは、当社ねじ締め機などの産機製品の販売を開始し、自動車分野のニーズにも幅広くきめ細かく対応、好評を博しています。そして2019年6月には広州支店を設置。多くのお客様が拠点を置く華南地区の高品質化のニーズに、当社グループのねじ、及びねじ締め機をセットにしたトータルファスニングソリューション(総合力による締結問題解決)

を提供。さらに、2024年からは分析機器(日東精工アナリテック)の販売を開始し、高い技術力のハイエンド企業として地位確立を目指しています。

ももとの社名にあった「螺絲」は中国語で「ねじ」のこと

です。同社ではもちろんねじ(ファスナー)を扱っていて、創業当初は社名に「螺絲」が入ることで事業内容をわかりやすくアピールできたわけですが、近年は産機(自動ねじ締め機)や制御(分析機器)事業に注力し、売上比率が高まっていること、日東精工グループがねじ専門企業ではなく幅広い製品を取り扱う企業であることをアピールし、中国における事業拡大を図っていくために、今般、社名から「螺絲」を外すことにしたものです。

ブランドの統一を図り、当社グループとしてさらに一体となって事業展開を加速していくための商号変更となります。日東精工科技(浙江) 有限公司(NTZ)では、ファスナー事業においては付加価値の高い高機能部品に注力し、さらに中国市場を中心に産機事業・制御事業の比率を拡大させ、締結・組立・分析の総合メーカーの地位を確立するべく事業を進めてまいります。

新 商 号	日東精工科技(浙江) 有限公司
英文表記	NITTOSEIKO TECHNOLOGY (ZHEJIANG) CO., LTD. [略称:NTZ]
代 表 者	董事長:櫻井俊秀 副總經理:井上貴人(常勤)
所 在 地	本社:中華人民共和国浙江省嘉善県惠民街道黃山路48号314100
支 店	広州支店:中華人民共和国広東省広州市番禺区大龍金凱潤二街3号
事業内容	自動組立機械、分析機器、工業用ファスナー(ねじ)の製造、販売

人財確保・企業価値向上のため 地域の学校との連携を深める

NTZ社では地元へ貢献し日東精工ブランドを根付かせることが、同社をはじめ日東精工グループ会社の発展につながっていくと考えています。もちろん日本と中国では政治体制が違いますので、ルールや慣習などの違いを考慮しつつ、地元行政及び教育機関との連携を図りながら、人財確保、育成、企業価値の向上に取り組んでいます。そして、その一つが「嘉善技師学院（NTZ社より30分圏内）」との連携です。

この学校は国家重点職業学校・専門技術学校（高校3年＋技術系短大2年）であり、浙江省における職業教育発展模範校の第一級指定を受けています。浙江省の先進製造業に焦点をあて、AI技術、情報技術、集積回路、機械・電子技術、産業用ロボットなど、17の専攻を有しています。現場での即戦力として送り出すための基礎知識の学習はもちろん、その知識を実地する教育が日本より進んでいます（少なくとも大学院の研究室並み）。

企業の生産設備や加工設備のような最新設備を数多くもっており、学んだ知識が、アウトプットできるような教育の仕組みになっています。さらに、タイアップする企業に対しては、その企業が

求める知識や技術を専門に学べるクラスや時間が設けられており、採用した企業の即戦力となるような仕組みもあります。中国においては、民間企業と教育現場の距離が、高校レベルからすでに近い存在であり、モノづくりや新技術の開発につながっています。

そこで高い技術をもった人財を確保するために、NTZ社から学校へアプローチをかけ⇒副校長や教員の来社⇒学生の来社・見学会⇒学生の来社・勉強会⇒日東精工による学校への表敬訪問⇒日東精工 荒賀誠社長によるねじとくん(受験生応援グッズ) 贈呈式⇒インターンシップの検討といった形で、地元教育機関との連携を深めています。

すでに嘉善技師学院の新卒生を採用して新事業への戦力にもなっており、今後は毎年一定数の新卒を採用することでさらに地元へ貢献するとともに、教育機関とのWin-Winな関係を構築していきたいと考えています。



当社代表取締役社長荒賀誠（左）が嘉善技師学院を表敬訪問し副校長と記念撮影／嘉善技師学院の学生が来社。勉強会を実施

嘉善技師学院出身のNTZの新しい人財

営業本部 営業一課 姚张澍

入社したばかりのときは不安と緊張もあった。しかし上司や周りの同僚が親切にしてくれて徐々に職場に慣れてきた。会社に入ることは仕事だけではなく、自分自身を改めて見直し新たな視点を加えることでもある。常にポジティブな姿勢で問題解決に取り組み経験を重ねていきたい（2024年7月15日入社）。



上司
談話

小山専員●ファスナー・産機それぞれの販売担当。2つの事業について担当することは日東グループのなかでもまれな存在なので、「わからないことはすぐ聞く」を合言葉に、さらなる成長を期待している。

製造本部技術部 吴成康

入社面接で自分の専門知識が生かせることを知り非常に魅力だと思った。難しい問題を乗り越え、与えられた仕事をやり遂げるたびに自分の成長を実感でき、その達成感は言葉では表せない。さまざまなプロジェクトや仕事に携わっているうちに自分の強みを明確に理解するようになり、今後キャリアの方向性も明確になった（2024年9月3日入社）。



上司
談話

李経理兼工場長●3D図面の設計など、新事業の立ち上げに能力を発揮してもらっている。これからも新事業や技術力向上のために更なる活躍を期待している。

個人投資家向け企業説明会 綾部市内で開催

当社が本社を置く綾部市の「あやべ・日東精工アーナ」で5月31日に西村証券主催の個人投資家向け「企業説明会・株式講演会」が開催され、当社代表取締役社長荒賀誠が当社事業内容や経営戦略を説明させていただきました。また5月30日には綾部市老人クラブ連合会に荒賀がゲストとして招かれ講演をいたしました。

当社は昭和13年の創業以来、国内外で幅広く事業を展開していますが、その一方で、本社を綾部から東京や大阪などの大都市に移すことなく創業の地への貢献を大事にしています。日東精工は地域の方々には昔からなじみ深い会社ではありますが、常に新しい情報を提供し、日々の挑戦などをより深くご理解いただき、さらなるご支援をいただければと思っています。



「企業説明会・株式講演会」には54名が参加

▷2025年版統合
レポートを発行。
こちらからもご
覧いただけます



日東精工アナリテックが 主要代理店会議を開催

当社の連結子会社の日東精工アナリテック㈱は、分析機器メーカーとして、国内だけでなく幅広く海外販売を展開しています。昨年度は海外の現地代理店の尽力もあり、過去最高の売上となりました。そこで代理店の功績を讃えるため、上位10社（9か国）の代理店を神奈川県小田原市内のホテルに招待し、パートナーである日東精工科技（浙江）と日東精工アナリテックヨーロッパも参加する主要代理店会議を5月27日に開催しました。午前は製品情報や開発動向について発表し、午後は4代理店が市場情報、販売戦略、成功事例等を発表。会議の締めくくりには表彰式を行いました。



コロナ禍などでしばらく開催できず、今回は7年ぶりの開催

省エネ優良事業者「Sクラス」の 評価を受けました

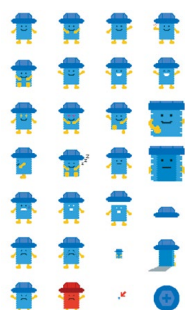
当社は経済産業省資源エネルギー庁が実施している「事業者クラス分け評価制度（2024年度提出分）」において、最高評価「Sクラス」の評価を受けました。省エネ法に基づき、一定規模以上の事業者（原油換算で1,500kl／年以上のエネルギーを使用）は、エネルギーの使用状況について定期的に報告し、省エネや非化石転換等に関する取り組みの見直しや計画の策定等を行うことが義務付けられています。そのうえで、資源エネルギー庁でこの定期報告書を確認し、事業者をS（優良事業者）・A（さらなる努力が期待される事業者）・B（停滞事業者）C（注意を要する事業者）へクラス分けするものです。

この度のSクラス評価を励みに今後も当社は、省エネルギーの推進と環境への配慮を一層強化し、持続可能な社会の実現に向けて努力してまいります。

2025年度「ねじの日」企画 ドットねじとくんLINEスタンプを販売!

当社のマスコットキャラクター「ねじとくん」はもともとは当時当社を訪れていたインドネシア研修生がデザインしたものの。今から10年前、6月1日（ねじの日）にキャラクター名を一般公募し「ねじとくん」と命名されたものです。当社の受験生応援ねじプレゼントキャンペーンのナビゲーターでもあり、老若男女たくさんの方から愛されています。

今般、LINEスタンプの第2弾がレトロなドットイラストで登場！ふだんは目立たない「ねじ」を会話の主役にして、ぜひトークを盛りあげてください！



△購入方法などは
こちらから

【誠の言霊 ②7】

苦言は薬なり

甘言は病なり

代表取締役社長
荒賀 誠

神

奈川フィルのコンサートマスターとして活躍、弦楽合奏団「石田組」も主宰するカリスマ・バイオリニストの石田泰尚さんがインタビューで「今の自分があるのは大学時代に叱ってくれた師がいたからだ」と語っていました。有頂天、天狗になっている姿を見て「世界に目を向ければ君のようなのはごまんといる。現状に甘んじるな」と叱責され目が覚めたのだそう。まさに「苦言は薬なり 甘言は病なり」です。「意見してくれる人は必要。それによつて磨かれるのだから」。これはマイクロソフト創業者、ビル・ゲイツの言葉です。成功するためにときにはネガティブ・フィードバックが必要

要です。仕事の質を高めキャリアの幅を広げるためには、自分の至らぬ点や改善すべき点を指摘されること有益ですが、叱るのは、案外難しい。とくに最近は、相手を傷つけるのでは？ パワハラにつながるのでは？ と身構えてリスクをとらず叱らないことも増えているようです。ネガティブ・フィードバックは相手だけでなく、自分も成長させるのだと心得たいもの。想いがすぐに伝わることもあれば、時間がかかることがあるかもしれません。しかし、いつときの感情をのせるのではなく、愛をもつて伝えれば必ず伝わるのです。叱る・叱られるいい関係をぜひ築いていきたいものです。

※問題点を指摘し立て直しを支援するためのフィードバックをネガティブフィードバックと呼ぶ。もちろん人格を否定する、やる気を損なうような言い方を避ける必要がある

「幸せ」を見つけるヒント ——— 7月

富士山いろいろ

古今東西、さまざまな有名画家が「富士」の絵を描いています。一般には富士山という漢字の「八」をイメージさせる優美な姿を想起しますが、じつはいろ



いろなとらえ方があっておもしろく、多面的にみる

ことの大切さを思い返します。当社が本社をおく綾部市の『自適館』では7月26日から8月3日まで「有道佐一と富士山展」が開催され、コーナー展示では40人以上さまざなな画家の富士山も紹介されるようです。

葛飾北斎は90歳のときに「富士越龍」を描き、富士を越える龍の姿を自分に見立てたといいますが、その探求心・向上心には敬服するばかりです。

「自分はこうだ。こんな力がある」と自己評価しつつ、「まだほかにも伸びしろがあるのでは」と未来志向をもつ、と同時に、自分はこういう人間だと思っていることを、果たして他者がどう評価しているかを振り返ることも大切ですね。

日東精工代表取締役会長 綾部商工会議所会頭 材木正己

